

マブチグループ 社会・環境報告書 2018

Actuating Your Dreams





マブチグループ 社会・環境報告書 2018

CONTENTS

■ 会社概要	2
■ ご挨拶	3
■ 社会・環境に配慮した企業活動	5
■ コーポレートガバナンス	7
■ コンプライアンス	8
■ リスクマネジメント	9
■ ものづくり・教育に対する支援活動	11
■ 地域支援活動	13
■ 働きがいのある職場づくり	14
■ 環境マネジメント	17
■ グリーン調達	18
■ 環境コミュニケーション	20
■ 環境の歩み・環境データ	22

編集にあたって

当社は、本報告書を通して、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、マブチグループと関わるすべての方々とのコミュニケーションを更に充実させ、より良い今後の活動を目指してまいります。

なお、環境配慮の観点から、印刷物ではなく、電子化(PDF)した報告書をホームページに掲載しております。

対象期間：2017年度(2017.1.1～2017.12.31)

対象範囲：モーターの設計、生産、販売、及びサービスの提供に関わる社会的な取り組みと環境活動の内容

対象組織：マブチグループ

【日本】

・マブチモーター株式会社(本社)

【北・中南米】

・MABUCHI MOTOR AMERICA CORP.(アメリカマブチ)
・MABUCHI MOTOR MEXICO S.A. DE C.V.(メキシコマブチ)

【欧州】

・MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH(ヨーロッパマブチ)
・MABUCHI MOTOR POLAND sp. z o. o.(ポーランドマブチ)

【アジアパシフィック】

・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
・萬寶至馬達股份有限公司(高雄マブチ)
・MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD.(ベトナムマブチ)
・MABUCHI MOTOR DANANG LTD.(ダナンマブチ)
・MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE.LTD.(シンガポールマブチ)
・MABUCHI MOTOR KOREA CO.,LTD.(韓国マブチ)

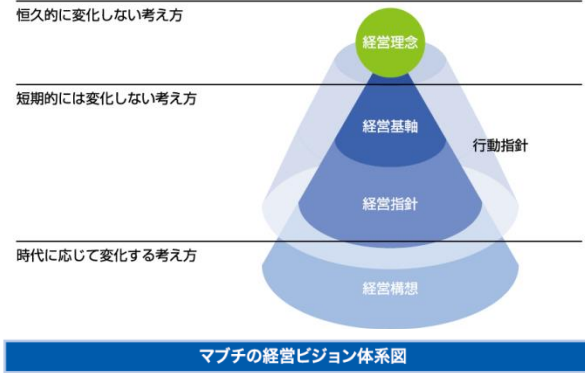
【中国・香港】

・萬寶至實業有限公司(香港マブチ)
・万宝至馬達(東莞)有限公司(東莞マブチ)
・万宝至精工(東莞)有限公司(路東マブチ)
・東莞道ジャオ万宝至馬達有限公司(道ジャオマブチ)
・万宝至馬達(江西)有限公司(江西マブチ)
・万宝至馬達大連有限公司(大連マブチ)
・万宝至馬達瓦房店有限公司(瓦房店マブチ)
・万宝至馬達(江蘇)有限公司(江蘇マブチ)
・万宝至馬達(上海)有限公司(上海マブチ)
・万宝至馬達貿易(深圳)有限公司(深圳マブチ)

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

経営基軸

- 1. より良い製品をより安く供給することにより、豊かな 社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
- 2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
- 3. 人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
- 4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う



会社概要

■ 商号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO.,LTD.
■ 創立年月日	1954年1月18日
■ 事業内容	小型モーターの製造販売
■ 資本金	207億481万円
■ 代表者	代表取締役社長 大越博雄
■ 従業員数	本社:806名 グループ:23,936名 (2017年12月末現在)

■ 連結業績	売上高 1,469億2千5百万円 当期純利益 203億3百万円 (2017年12月期)
■ 所在地(本社)	千葉県松戸市松飛台430番地 〒270-2280 Tel:047-710-1111(代表) 千葉県印西市竜腹寺280番地 〒270-2293 Tel:047-710-1222(代表)



モーターを通した社会貢献を

マブチモーターは、1954年、世の中の子供たちが安全に楽しむことができる良質で安価なモーターをつくりたいとの思いを胸に誕生しました。その後の技術革新やグローバル化の進展に合わせ当社の市場も大きく広がり、現在では自動車電装機器用途向けが売上の7割以上を占めるようになりました。こうした変化の中でも、私たちの考え方に変わりはありません。

当社におけるすべての活動を貫く根本的な考え方である経営理念『国際社会への貢献とその継続的拡大』は、マブチグループ全社員が「企業は社会に貢献するため、人々の幸せに寄与するために存在する」という考えのもと、日々の活動に取り組む礎となっています。

「国際社会への貢献」とは、現地に根ざしその国・地域の皆様とともに、技術を磨き人材育成を行い、経済発展、地域社会に貢献することです。これまでと同様にこれからも目指していくものは、「真のグローバル化」です。この「真のグローバル化」の必要性は、益々高まっていくことでしょう。

当社は今後も、企業の目的である社会の公器としての役割をグローバルレベルで果たしてまいります。

同時に、より良い製品をより安く安定的に提供し、人々の暮らしを便利に快適に、安全にするお手伝いをするこそ、専門メーカーであるマブチモーターの使命と捉えています。お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献するため、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げることに邁進する所存です。

当社は、お客様のご要望の最大公約数的なモーターを標準品として開発することで高品質と低価格の両立を図ってきました。共通化された部材を世界中のお客様の近くで現地調達し、



代表取締役社長

大越 博雄

自動化技術を駆使した設備で生産販売する、いわゆる「地産地消」対応でどこでも同じ高品質モーターを提供できる、徹底的な標準化戦略こそが当社独自の強みです。

海外展開においては、1964年に香港に拠点を設立、その後、中国・台湾・ベトナムへと、グローバルな生産・供給体制の構築を積極的に進め、当該地域の経済発展、人材育成に貢献してまいりました。2016年に量産を開始した「メキシコマブチ」に続き、2017年には当社にとって欧州初の生産拠点「ポーランドマブチ」を設立いたしました。

グローバル生産・販売体制構築の取り組みは、更に高いステージへと進んでおり、これを契機として、世界規模でより一層の社会貢献を拡大してまいります。

更に、企業市民としての社会貢献活動についても積極的に推進し、特に未来を担う青少年たちに、モーターを通じた教育支援を継続的に行っています。

工作教室や出前授業で楽しそうに目を輝かせる子供たち、ロボットコンテストで創意工夫を凝らしている学生たちの今後の成長が、私たちの大きな喜びであります。社会を創造する主役は人であり、特に次世代の技術者の育成は、国際社会にとって極めて重要です。当社モーターとその「技術」、そして「ものづくり」を体験する活動を通じて、未来を担う人々の育成に貢献できるよう、今後も継続して取り組みます。

現代社会では世界的に、大きな経済変化や自然災害などが多々起きています。企業は社会から切り離されて存在することはできず、社会の繁栄なくして企業の存続はあり得ません。当社は不変の経営理念のもと、事業を通じて、様々なステークホルダーの皆様とともに、問題解決に向けた活動を積極的に継続してまいります。今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



当社の製品は、環境に配慮した高性能・低価格・フレキシブルな生産供給を実現し、広範囲なフィールドに用途を拡大。年間生産数量約15億個の世界No.1ブランドです。

社会・環境に配慮した企業活動

マブチモーターは、「SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る」という考え方に共感し、持続可能な開発目標(SDGs)に向けて社会・環境への積極的な取り組みを進めております。

<持続可能な開発目標(SDGs)>

2015年9月、ニューヨークで開催された国連首脳会議で193カ国の合意により、持続可能な開発目標(SDGs)が採択され、2030年のグローバルな持続可能性アジェンダとして17の目標と169の目標が採択されました。企業も含めたすべての国とすべての人による行動が求められています。



Public Private Action for Partnership!!

SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る

企業活動における環境配慮

■省電力化の取り組み

マブチグループでは、社内照明のLED化推進、エアコンの設定温度管理の徹底、夏季の給湯や便座ヒーターの利用停止などにより、全社的な省電力化に取り組んでいます。

こうした節電状況を、総務部門等で進捗確認、社内イントラネットや工場内に掲示して節電意識の向上に努めています。



照明のLED化を推進

■生産設備導入における取り組み

生産過程においても常に環境に配慮した取り組みを行っています。

例えば、現状の生産設備機器の電力仕様調査を行いリスト化し、当該設備製造時に当社の禁止物質の使用有無、電力・エア・用水等の使用量、燃料消費量、大気汚染物質・オゾン層破壊物質・汚水の排出量、振動・騒音水準、労働安全衛生法を適用する廃棄物・有害物質の排出量、設備廃棄時における有害物質漏出の可能性有無、有害物質回収の指示・説明の有無など、多面的な環境影響評価表を作成して生産設備機器の導入計画を立案しています。

■気化式クーリングマシン(エコブリッド)

メキシコマブチでは、気化熱を利用した空冷方式で完全密閉式の冷却システムにより、水の使用量を大幅に削減、システムの運転最適化で運転時間を短縮、環境に優しい運転を実現しています。加えて、晴天率の高いメキシコに合ったソーラーパネル式外灯を23基設置しています。



■太陽光発電の活用

道ジャオマブチでは屋上にソーラーパネルを設置し、化石燃料消費量と温室効果ガス排出量をともに削減できる太陽光発電を活用しています。



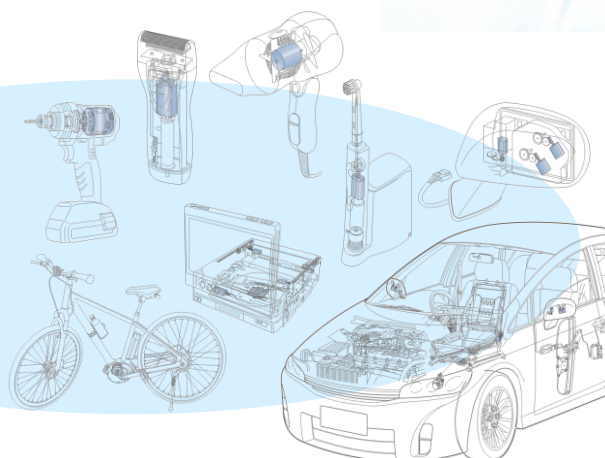
環境に配慮した製品づくり

当社の製品は、環境に配慮した高性能・低価格・フレキシブルな生産供給を実現し、広範囲なフィールドに用途を拡大。年間生産量約15億個の世界No.1ブランドです。

より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化に貢献、社会全体の省資源・省エネルギー化、人々の暮らしを便利に、快適に、安全にするお手伝いをすることこそ、モーター専門メーカーであるマブチモーターの使命ととらえ、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げています。



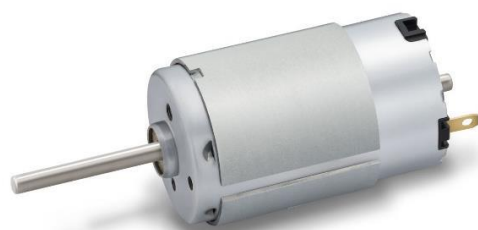
当社のモーターは、様々な用途で、皆様の暮らしを便利に、快適に、安全にするお手伝いをしています。



新製品紹介



ドアクローザー用モーター RS-446VA

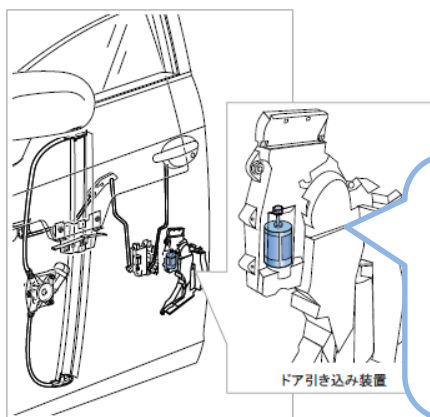


当社は、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献するため、自動車電装機器用モーターにおいても、高トルク、小型・軽量化を継続的に追求しております。

新製品RS-446VAは高トルクと低振動を実現しつつ、電気ノイズ規格に対応が可能な構造をコンパクトにまとめたモデルです。同製品をご使用いただくことで、ドアクローザーの設計自由度及び、車内の静音性向上に貢献いたします。ドアクローザー以外にも、シートベルトプリテンショナー、ヘッドレスト、サンシェードなど幅広い用途でご使用いただける製品です。

【製品の特長】

1. 小型・軽量を追求
 - ・当社ドアクローザー用モーターで一般的なRS-555タイプ（直径38.5mm×長さ57.0mm、重量約250g）に対し、直径30.0mm×長さ46.5mm、重量約115g
2. 高トルク、低振動を実現
 - ・2極6溝の磁気回路を採用したことで、同等サイズ製品と比較して、より高トルク、低振動を実現。実使用環境における静音性を向上
3. 電気ノイズ規格に対応
 - ・チョークコイル、コンデンサなどの素子を内蔵可能な構造を採用し、電気ノイズ規格に対応、さらに焼損保護素子も内蔵可能



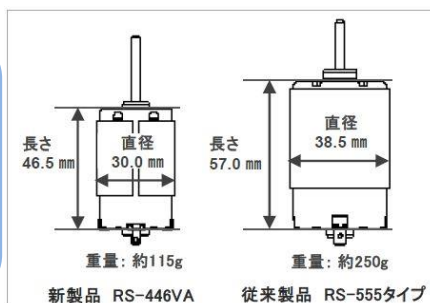
ドアクローザーへのモーター搭載イメージと電動化がもたらすメリット

【安全性向上】

半ドアを自動で全閉状態にすることで、半ドア状態での走行を防止するとともに、半ドア閉め直しを不要にすることにより、後方からの接近車両などとの接触事故の可能性を軽減

【快適性向上】

力があまり無い人でも、容易に、確実にドアを開めることができ、更に、勢いをつけて閉める必要がなくなるため、車内の静音性の向上、振動抑制にも貢献



コーポレートガバナンス

当社は、コーポレートガバナンス強化は経営に欠かせないものと考え、コーポレートガバナンス・コードの各原則について実施し、透明性の高いガバナンス体制の構築を行っています。

基本的な考え方

当社は、小型モーター事業を通じた『国際社会への貢献とその継続的拡大』を経営理念に掲げ、その実現にこそ当社の存在意義があるものと認識しています。当社のコーポレートガバナンスは、この経営理念の実現をサポートする機関設計、経営管理体制、及びそれを維持するための経営上の諸施策からなります。したがって、適切なコーポレートガバナンス体制を整備し、運用する基本的な目的は、適正利益の創出と企業価値の向上を通じて、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの利益に継続的に貢献することにあります。上場企業としてのコーポレートガバナンスについては、次のような体制を構築、維持することが不可欠であると考えております。

- ・経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分をもって行われ、責任の所在が明らかであること。
- ・適切な内部統制システムが構築され、運用されていること。
- ・株主と利益相反のない独立役員が相当数選任され、経営監視機能の客観性及び中立性が確保されていること。
- ・企業倫理とコンプライアンスの実践が、組織の社会的公平性を支え、すべてのステークホルダーからの

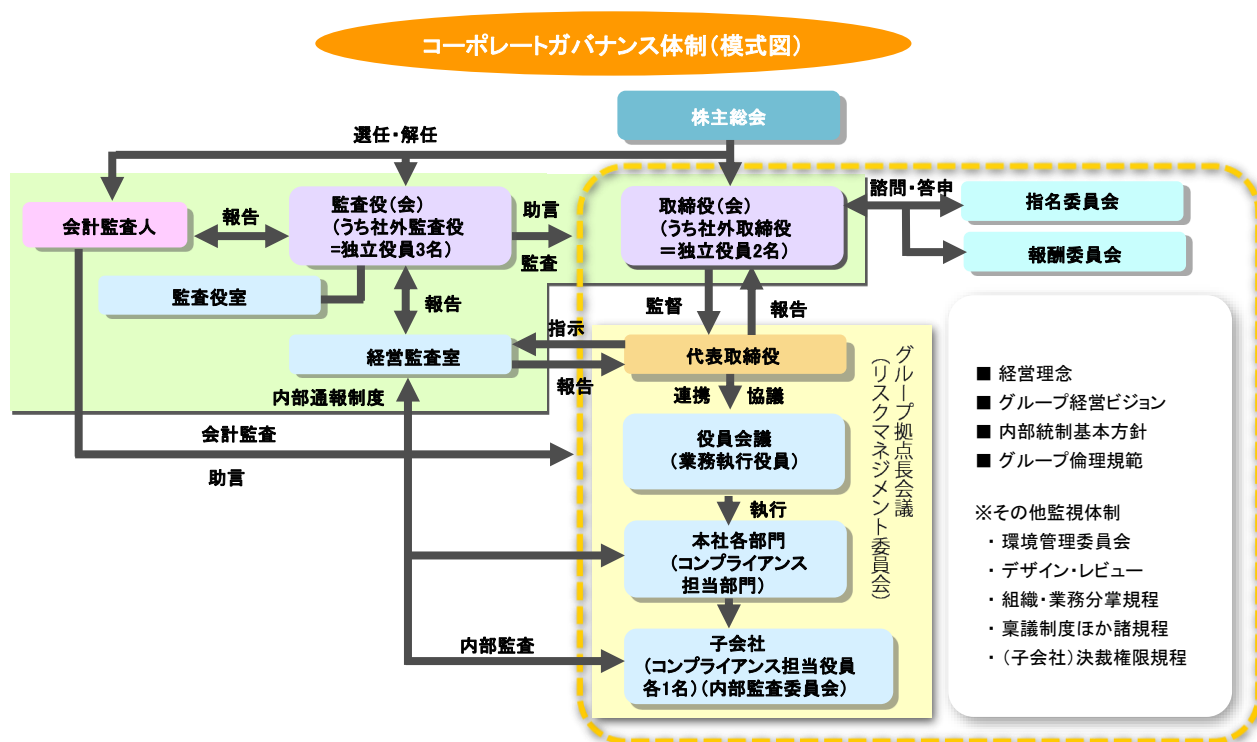
信頼と期待に応える基本である、という認識が企業文化として全従業員によって共有されていること。

- ・株主をはじめとするすべてのステークホルダーに対し、適正、公平、適時かつ明瞭に企業情報の開示が行われ、取締役会及び監査役会等によるアカウンタビリティが確保されていること。

体制・システムの構築

当社は、監査役会設置会社であり、会社法に規定されている会社の機関（独立役員を含む）、会計監査人などが、それぞれ法令に基づく機能を果たし、加えて当社独自で設置する役員会議、経営監査室（内部監査部門）、指名委員会、報酬委員会、その他の業務執行や内部牽制に係る組織による体制とシステムを構築し運営しています。

海外拠点においても、それぞれの国の法令などに基
づく機関や当社の内部組織によって内部統制が実施さ
れています。グループ経営ビジョンを通してグローバル
に企業文化や価値観を共有するとともに、海外拠点経
営者会議をはじめとするマブチグループ全体の会議の
開催や、経営監査室による海外拠点の業務監査の実
施などにより、内部統制機能の向上に努めています。



(2018年3月31日現在)

コンプライアンス

法令遵守や企業倫理の維持は、企業としての社会的義務であると同時に、企業が存続・発展していくための経営の根幹です。社員一人ひとりが理解して守るべく、コンプライアンス体制を強化しています。

マブチモーター倫理規範

当社は、『国際社会への貢献とその継続的拡大』を経営理念に掲げ、その実現に向け企業活動を行っておりますが、この実現にあたっては、各国の法規制を守ることはもちろんのこと、社会から求められる企業倫理に沿った活動を行うことが大前提であると考えています。

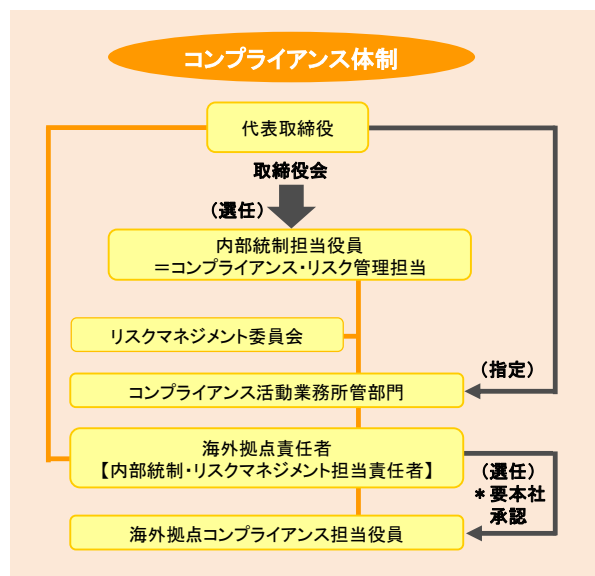
そこで、「マブチモーター倫理規範」を制定し、すべての役員・社員が守るべき法令等の社会ルールを具体的に示し、その浸透を図ってまいりました。これら活動のなご一層の周知を図ることを目的に、すべての役員・社員に小冊子に配付しております。

2017年も、引き続き海外生産拠点をはじめとして必要とされるコンプライアンス教育活動を継続いたしました。

今後も、コンプライアンス（法規制及び社会規範の遵守）に関する様々な説明会や研修を実施し、コンプライアンス経営の確立を目指してまいります。

マブチグループ全拠点に設置されたコンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、個々の拠点におけるコンプライアンス活動に関する責任者として、拠点内の内部統制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担っています。

本社の内部監査部門は、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、マブチグループ全体のコンプライアンスに関するルールや手順の遵守状況、その他の倫理に反する行為について、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。



倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート（上司や組織部門の窓口など）とは別に、内部監査部門が管理する、匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

当社は、お取引先様とも日頃から誠実で公正なお取引と相互信頼関係の構築に努めていますが、問題発生のも未然防止並びに拡大防止体制を強化するために、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を、社員のみならずお取引先様の一部に拡大しています。

また、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を発生させないことを約束するトップメッセージを発信しています。

【倫理規範基本方針（概要）】



1. マブチグループのすべての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様をはじめ、株主・投資家様、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規制、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規程類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、すべての役員・社員は、これらを誠実に守ります。

リスクマネジメント

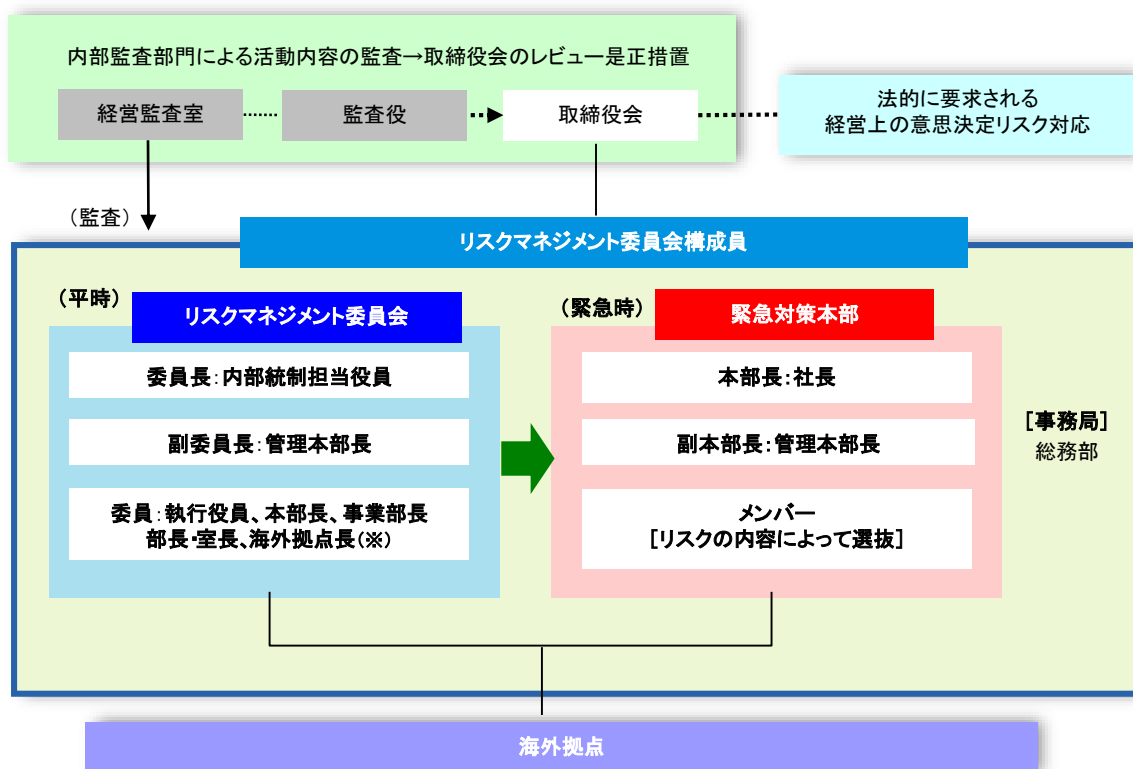
グローバルな事業活動を遂行し永続的な成長軌道を確実なものにするため、多様化する事業活動上の様々なリスクの軽減・最小化を図るべく、リスクマネジメントの充実・強化に取り組んでいます。

リスクマネジメント体制

当社は、リスク発生の未然防止やリスクが発生した場合の損害の最小化を目的として「リスクマネジメント委員会」を設置しています。マブチグループ全体として最適な

対応を可能とする体制を確立するとともに、この体制をベースに、緊急時における対応・方針・各種マニュアルなども整備しております。

リスクマネジメント委員会の位置づけ



※海外拠点長は非常勤メンバーとする(リスクマネジメントに関して必要な情報共有は適時行う)

考えられるリスク

【外的要因】

自然災害、社会犯罪、国際・政治情勢、及び金利・通貨・資材価格などのマーケット流動性リスク など

【内的要因】

製品品質・安全性、コンプライアンス、情報通信システム、知的財産権、労災、設備災害、環境、労務、人権、風評、サプライヤー、サプライチェーン など

リスクマネジメント委員会の対応

- ① 人命(安全)確保
 - ② コンプライアンス
 - ③ 情報セキュリティ
 - ④ 生産・供給停止
- に分類・特定

それぞれリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部社員とで連携を図りながら、マブチグループ全体でのリスク対策活動を継続的に実行する

災害対応マニュアル&各種訓練

当社は、「管理職の初期行動・指示マニュアル」、「災害時一般社員行動マニュアル」の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」の配付、及び「安否確認システム(本社全社員対象)」の導入などを行うとともに、緊急対策本部をはじめ、災害時に重要な役割を担う部門においてそれぞれ対応マニュアルを策定しております。

また、防災教育や各種訓練(避難・通報・消火、救急救護、安否確認、及び帰宅報告ほか)を定期的を実施し、全社員が落ち着いて適切な行動をとれるように努めております。

更に、災害時に必要な備品・資機材や飲食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として使用している本社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域に対する給水支援を行う準備もしています。



大規模災害発生時緊急対応カード

企業活動を地震から守るための免震構造



免震アイソレーターの設置やフレキシブルジョイントなどにより、震度7クラスの大地震に対しても室内環境への被害を受けません。

備品・資機材や飲食料などの備え(本社)

- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備
- 停電時を想定した連絡手段として、災害用PHS
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営及びコンピューターシステム保護のため、必要な自家発電装置、燃料、及び仮設トイレ
- 緊急避難時に必要なヘルメット
- 帰宅者に配付する飲料水
- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる分量の飲食料及びトイレ用水
- 設備・什器・備品などの転倒防止策
- 設備・什器・備品などの復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的とする機器・機材 など

緊急事態発生時の対応訓練

緊急事態発生時の環境汚染の予防・拡大防止のため、各業務の特性に合わせて、様々なケースを想定した緊急時の処置・通報訓練を実施しています。



情報セキュリティポリシー

当社は、保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩、改ざん、滅失、盗難などを防止することが企業の社会的責務の一つであると認識し、役員を含めたすべての社員が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深めるとともに、「情報セキュリティポリシー」を定め、情報セキュリティの確保に万全を期しております。

個人情報保護方針

当社は、個人を識別し得る情報(以下「個人情報」)を適切に取り扱い、保護することを重要な責務であると認識し、「個人情報保護方針」に基づき個人情報の保護に努めます。

ものづくり・教育に対する 支援活動

地域社会・国際社会への支援活動に力を入れる中で、特に未来を担う学生・子供たちに「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長をお手伝いできる活動に力を入れています。

ロボットコンテストへの協賛

未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与できることを願い、「高専ロボコン」、「ABUロボコン」、「学生ロボコン」に協賛し、継続して大会運営支援やモーターの提供などを行っています。



ABUロボコン

モーター支援

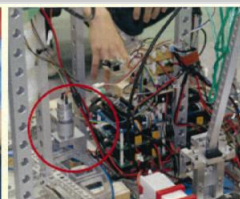
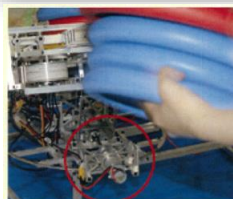
学生ロボコン及び高専ロボコンへのモーター支援は累計約24,000個



ギアヘッド付RS-555VC(上)
ギアヘッド付RS-385PH(下)



JC/LC-578VA
ほか



高専ロボコン

子供たちに「理科」の楽しさを伝えています。

出前授業

毎年、当社社員による理科出前授業を本社所在地(松戸市)の小学校を対象に実施しています。子供たちから、「モーターの部品を手にとり、磁石の実験をすることなどで理科が楽しかった」と感想をいただいています。



地元小学校での出前授業(本社)

科学技術館での展示、イベント実施

科学技術館(東京都・千代田区)にて常設展示を行い、モーターの基本原理や、私たちの暮らしの中で活躍しているモーターとモーターを使った工作などをわかりやすく紹介しています。また、同館との共催で、理科実験教室を開催しています。



科学技術館での理科実験教室(本社)

子供たちとともに「ものづくり」を楽しんでいます。

夏休み工作教室

本社所在地域(松戸市)の児童(小学4~6年生)を対象とした「夏休み親子モーター工作教室」を、毎年開催しています。多くの子供たちにもものづくりの楽しさを体感していただくこの工作教室を、今後も継続して行います。



工作用モーター

木工工作イベント

夏休み以外にも、5月に開催される静岡ホビーショー、8月末には千葉県立現代産業科学館にて、当社モーターを使用した木工工作を楽しんでいただきました。



静岡ホビーショー 工作イベント

職場体験・会社見学

日本では、地域小学校のキャリア教育の一環で行われている職場体験、海外拠点でも地域の児童を招待し、職場見学を実施しています。



小学生の見学(本社)



会社見学会(中国)

インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供して、働くことを実感し、当社の考え方の理解を深めていただくため、国内外の学生のインターンシップを継続して受け入れています。



柏レイソルアカデミーへの協賛支援

当社は、地域社会貢献活動の一環として、プロサッカーチーム柏レイソルの選手育成組織であるアカデミーとユニフォームスポンサー契約を締結し、本社地元東葛飾地区に本拠を置く柏レイソルの青少年クラスを支援しています。



地域支援活動

マブチグループ全体で、地域に根ざした環境保護、社会福祉活動などを継続的に実施しています。

地域社会との共生を目指す本社

本社敷地内には、「地域社会との共生」をコンセプトの一つとして、ビオガーデンを設け、なだらかに流れる水景と野原には渡り鳥が毎年訪れます。

築12年を経た現在でも、周囲の緑との調和に努めた植栽管理を行い、生物多様性の保全に配慮した地域特有の植生や、外来種の排除などを含めて、地域環境の向上に貢献しています。



地域支援

マブチグループでは、児童養護施設や老人ホームへの慰問活動や寄付活動を、継続的に実施しています。



寄付活動(ベトナム)



老人ホーム、リハビリ病院への慰問活動(中国)

植林・美化・清掃活動



献血活動

当社は、本社はじめマブチグループ全体で積極的に献血活動に協力しており、本社は毎年赤十字社より感謝状をいただいています。



働きがいのある職場づくり

経営基軸の中で「人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」と掲げ、マブチグループ全体で、社員としての基本的権利を尊重し、社員一人ひとりが自己実現、自己成長することができ、働きがいを感じられる職場づくりに取り組んでいます。



ワーク・ライフ・バランス

社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた働きやすい環境づくりを推進しています。

法令を上回る内容の育児休業期間設定及び子育て中の社員の時短制度の導入などをはじめとするファミリー・フレンドリー施策を推進し、千葉県の「社員いきいき！元気な会社宣言」にも参加しています。

千葉労働局より、次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」として認定を受け、次世代認定マーク「くるみん」も取得済みです。



働きやすい環境づくりにむけて

- ・育児休業(3年)・介護休業(1年)
- ・育児・介護休業中の自己啓発支援
- ・配偶者出産時休暇制度：取得率100%
- ・不妊治療のための低利融資制度
- ・育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働免除などの措置の導入
- ・有給休暇取得促進
- ・福利厚生施設の充実
- ・テレワーク

など

人事評価制度・自己申告制度

当社の人事評価制度は、様々な役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に把握し、会社の成長と社員の成長がともに実現できることを目指しています。そして、この制度をマネジメントツールとしてだけでなく、人材育成ツールとしても積極的に活用しています。

また、社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土醸成」が重要です。それを検討し実現する上での必要情報として、社員の職務に対する意識を把握することを目的とした定期的な社員の自己申告を実施しています。

社員表彰制度

マブチグループ全社員に対して、功績表彰、営業活動表彰及び改善提案表彰や、仕事だけではなく社会人として他の模範となる行動、地域社会貢献などを行った社員に対して、表彰を授与し栄誉を称えています。



障がい者雇用促進

当社は、障がいのある方もない方も同様に、個人の能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、本社をはじめマブチグループ全体で雇用を促進しています。

心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康で、いきいきと働けることは、社会生活の基礎であり、企業の活力向上につながると考え、本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタルヘルス講習会」の開催をしています。

労働者のための企業表彰

ダナンマブチは、ベトナム中央社会保険から社会・医療保険施策を確実に実施したことにより表彰されました。

中国東莞マブチは、「莞城区社員満足企業(社員の満足度が高い企業)」を受賞いたしました。



教育支援・資格取得奨励制度

◇英語学習支援

社員が国際社会への貢献を具現化できるよう、語学（特に英語）を学習する風土づくりのため、以下の施策を行っています。

- ・TOEIC受験の機会提供
- ・TOEIC対策講座開催
- ・オンライン英会話システム利用の機会提供
- ・短期留学制度
- ・トレーニー制度 など

◇資格取得奨励制度

社内に「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを狙いとして、「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。

また、「マブチビジネススクール」（通信教育）を毎年2回開講し、受講修了者にはその費用を助成することで、多くの社員が自由に積極的に学べる風土を醸成しています。

◇多目的自習室SAL、図書コーナーBIBLIO

語学や資格取得に向けて、個人の目標・レベルに合わせた学習や、グループディスカッションなどに利用できるように「多目的自習室」通称SALを社内に設置し、社員各自が業務前後や休み時間などを活用して自己啓発に役立てています。

同様に社員が学習する姿勢をサポートする目的で社内に、通称BIBLIOと呼ばれる図書コーナーを設置。社員が自由に名著を借りることができるシステムとなっています。



社員や家族が楽しめるイベントの開催

当社は、会社で働くすべての人々のコミュニケーションの円滑化と一体感の醸成を目的に、ガーデンパーティーや所属対抗ボウリング大会など様々な活動を行っています。



社員が学び成長できる研修

当社の研修制度は、社員が自律性を持ち、自ら学び成長していくためのプロセスの一つと考えています。役員から新入社員までを対象に、多様な視点で研修を行っています。



マブチグループでは、毎年生産拠点代表者が一堂に集まり、技能競技会を開催し、優秀な成績を獲得した社員は表彰されます。それぞれの拠点内でも、同種のイベントが行われ、社員同士が切磋琢磨して技術の向上を図っています。



本社内で開催された
技能コンテスト

海外拠点の社員参加イベント

定期的にスポーツ大会や社員旅行、文化祭など、社員が参加できるイベントを実施しています。

2017年8月に大連マブチにて創立30周年記念式典が挙行され社員全員で祝いました。



ヨーロッパマブチでは、マラソン大会にチームとして毎年参加しています。

環境マネジメント

本社及び生産拠点に「環境マネジメントシステムISO14001」を導入し認証を取得しています。また、マブチグループ、本社、各拠点・各部門において環境目標を設定し、徹底したPDCA管理を行い、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。

環境マネジメントシステムの構築

取締役が環境管理統括責任者として、マブチグループ全体の環境マネジメントシステムを管理しています。

本社では「環境管理委員会」を設置し、環境管理統括責任者が委員長となり、本部長・部長・室長で構成されたメンバーで、マブチグループの環境方針、環境目標、施策などの審議、決定を行います。

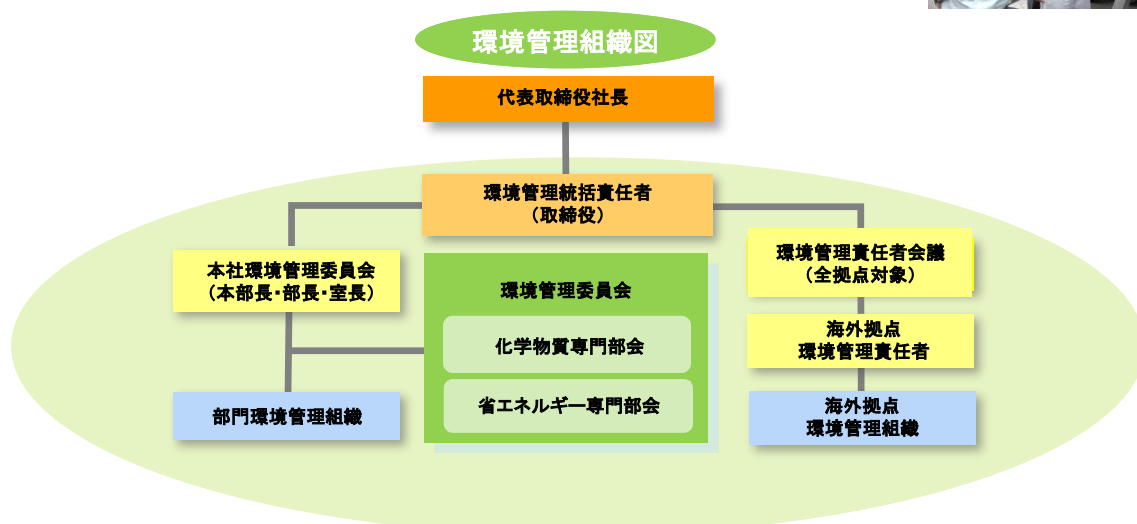
また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策を提案し環境保全活動を推進しています。

環境監査

当社の環境マネジメントシステムが、ISO規格の要求と合致しているか、有効に運営されているかについて、審査登録機関（第三者）及び社内の監査部門により監査を行っています。これらの監査を通じて、環境管理レベルの継続的に維持・向上を図っています。



環境管理組織図



マブチグループ環境方針

私たちは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

1. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
2. 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - 2.1 CO₂の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 2.2 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 2.3 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する“グリーン調達”を行います。
 - 2.4 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
3. 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。
4. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

マブチモーター株式会社
代表取締役社長

大越博雄

制定：1998年9月27日 改訂：2013年3月28日

グリーン調達

製品の原材料・部品などをお取引先様から調達する際に、法令、規制、及びお客様要求に加え、当社独自の基準を設け、この基準に定められた環境禁止物質について厳格に管理運用を行い、環境負荷の小さい部材を優先的に使用しております。

グリーン調達の推進

原材料の資源採取から、製造・加工、流通・販売、消費・使用、及び廃棄・リサイクルにいたる製品ライフサイクルにおいて環境負荷の少ない製品の開発に取り組むためには、自社だけの環境保全活動では十分とは言えません。そこで、お取引先様の各種環境への取り組み状況も評価し、お取引先様とともに、環境負荷の低減や環境リスクの回避を図っています。

下図のように、お取引先様には、グリーン調達活動を実施のうえ、環境活動調査表に加えて、原材料・部品に環境禁止物質が含まれないことを保証する書類を提出いただきお取引先様の環境負荷物質の使用・保管状況を確認するための環境監査も積極的に実施しています。

各種法令の遵守

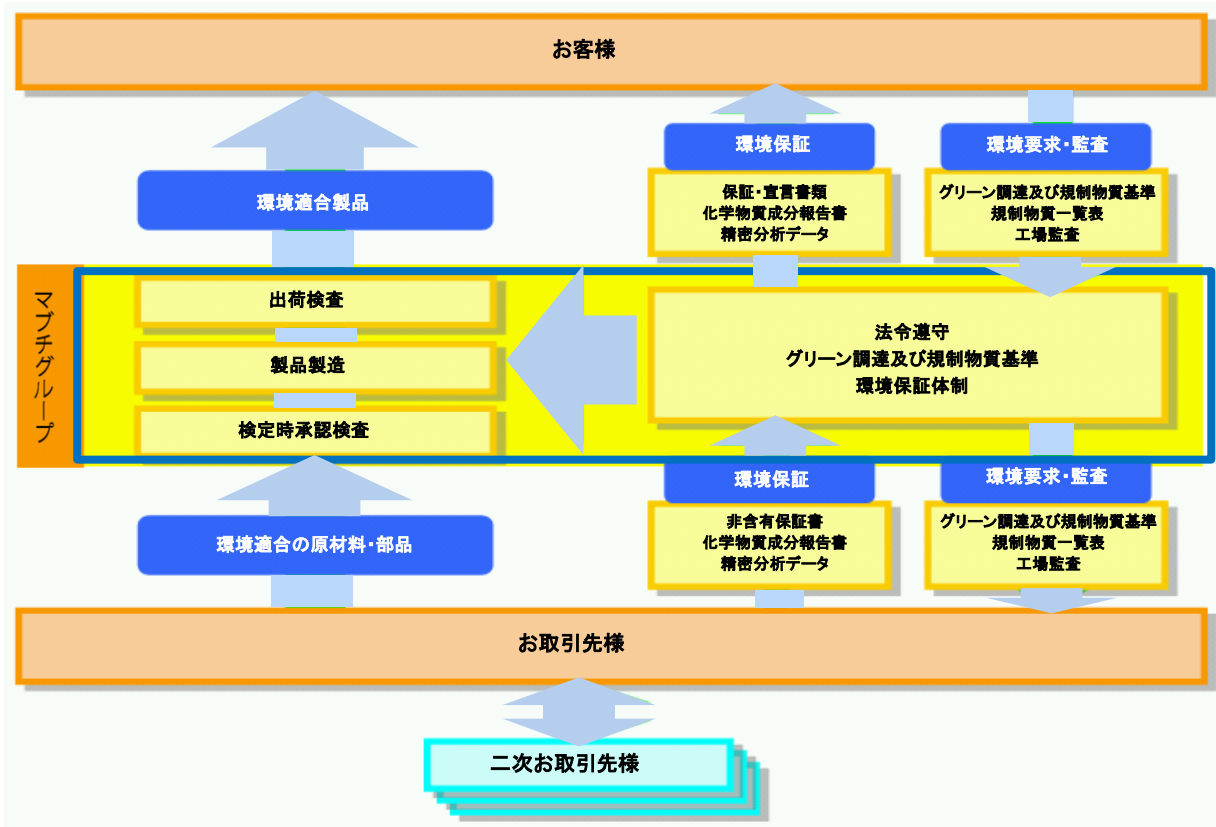
欧州RoHS指令、欧州ELV指令、欧州REACH規則制限物質・SVHC(高懸念物質)、日本の化審法 第一種特定化学物質、GADSL(自動車業界自主基準)、その他の法規制、お客様からの要求、マプチ自主基準などによる、規制物質の追加、禁止ランク変更など、先を見据えた対応を行っています。

また、武装勢力の資金源となっている紛争鉱物の不使用をお取引先様に要請し、紛争鉱物調査の結果をお客様に回答しています。

日常のお取引先様とのコミュニケーションや、環境負荷物質の使用・保管状況の監査活動を積極的に行うことで、2006年の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、環境クレームは発生しておりません。

今後も、お客様、お取引先様とともにグリーン調達活動を進めていきます。

グリーン調達フローチャート



環境コミュニケーション

環境への取り組みにおける理念や、環境マネジメント活動の情報を社内外に向けて発信しています。これらの活動を通じて、社員はもちろん、お取引先様をはじめ、広く社会の皆様にも、当社の環境保全への姿勢、取り組みへの理解を深めていただけるようにしています。

社会・環境報告書の発行 及びホームページによる環境情報発信

ホームページ上で公開している「社会・環境報告書」を通して、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、皆様とのコミュニケーションを更に充実させてまいります。



当社ホームページ

グループ内環境コミュニケーション活動の展開

マブチグループ全体で、環境情報の共有化及び環境保全活動を効率的に行うため、本社及び海外生産拠点の環境管理責任者で構成される「環境管理責任者会議」を毎年開催しています。

また、社内イントラネット上に「ECOLOG」と呼ぶ環境情報を集約したデータベースを作成し、本社をはじめ世界各地の社員が、「ECOLOG」を通して、様々な環境情報を共有し活用しています。

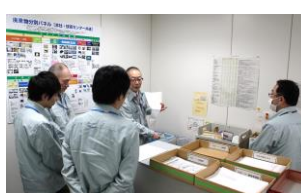
その他、当社の環境対応の現状や、最新の環境情報を社内報に掲載して社員の環境意識の向上を図っています。



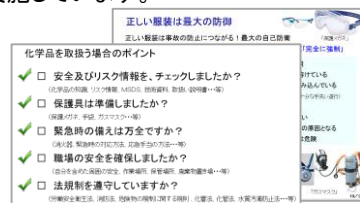
「環境管理責任者会議」
2017年は拠点とテレビ会議を結んで開催

環境教育

社員の環境に関する意識の向上を図るために、階層別、目的別の環境教育を実施しています。



廃棄物分別教育



化学物質取り扱い教育資料

環境を考える標語・ポスター作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、マブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を毎年開催しています。本社及び海外拠点から、1次審査ではトータル1万点を超える応募がある中、2次審査へ約117点の作品が進み、その中から選ばれた受賞作品を本社食堂に展示し、環境意識をより一層高めました。

入賞作品＜標語部門1位＞

少産一個不良、就是對環境多一份關愛。
(一つの不良も作らない。私達 企業が取り組む、環境への思いやり)



＜ポスター部門
1位・2位 2点＞



環境の歩み

1993年 「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化	2001年 「環境報告書」を発行開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了
1997年 環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理委員会」を設置	2002年 六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始
1998年 マブチグループの「環境基本方針」を制定	2004年 最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工
1999年 ISO14001の認証取得	2006年 全製品を、欧州RoHS／ELV指令適合品に切り替え、全拠点で「グリーン調達説明会」を開催
2000年 グリーン調達活動開始 モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了	2008年 「環境報告書」を「社会・環境報告書」に変更 (社会的な取り組みについても掲載)
	2012年 環境基本方針を「マブチグループ環境方針」に改訂
	2015年 環境に配慮した新工場「メキシコマブチ」を竣工
	2017年 環境に配慮した新工場「ポーランドマブチ」を建設開始

環境データ

	単位	2013	2014	2015	2016	2017
購入電力量	(万kWh)	16,351	17,331	18,388	17,718	19,842
CO ₂ 排出量	(t- CO ₂)	84,057	85,860	88,196	93,635	98,529
最終廃棄物量	(t)	1,437	1,503	1,273	1,297	1,381
水使用量	(千m ³)	942	886	815	816	814
石炭使用量	(t)	2,876	1,650	0	0	0

このデータは本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算しています。